

日本薬局方 オキシドール オキシドール「ホエイ」

Oxydol

承認番号	16100AMZ00612
薬価収載	1950年9月
販売開始	1963年3月
再評価結果	1983年4月

貯 法：遮光した気密容器に入れ、30℃以下で保存
使用期限：最終年月を外箱等に記載

【禁忌（次の部位には使用しないこと）】

瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位
[空気塞栓を起こしたとの報告がある。]

【組成・性状】

1. 組成

1 mL中：

販売名	オキシドール「ホエイ」
成分・含量	過酸化水素 30mg含有
添加物	フェナセチン、pH調節剤

2. 性状

本剤は無色澄明の液で、においはないか、又はオゾンようのにおいがある。

【効能・効果】

1. 創傷・潰瘍の殺菌・消毒
2. 外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症
3. 口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄、口内炎の洗口

【用法・用量】

1. 創傷・潰瘍：

原液のままあるいは2～3倍希釈して塗布・洗浄する。

2. 耳鼻咽喉：

原液のまま塗布、滴下あるいは2～10倍（耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する）希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。

3. 口腔：

口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄には原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。
口内炎の洗口には10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

長期間又は広範囲に使用しないこと。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用（頻度不明）

- 1) 空気塞栓：空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

		頻度不明
口	腔	連用により口腔粘膜を刺激することがある。

3. 適用上の注意

(1) 投与経路

外用にのみ使用し、内服しないこと。

(2) 使用時

- 1) 眼に入らないように注意すること。
眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。
- 3) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

4. その他の注意

長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

【薬効薬理】

本剤は使用濃度において栄養型細菌に有効であるが、その作用は緩和で持続性がない。
発泡による機械的清浄化作用を有する。

【包装】

オキシドール「ホエイ」：500mL

※【文献請求先】

ヴィアトリス製薬株式会社 メディカルインフォメーション部
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号
フリーダイヤル 0120-419-043

※【製造販売元】

マイランEPD合同会社
東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

※【販売元】

ヴィアトリス製薬株式会社
東京都港区虎ノ門5丁目11番2号